

# 令和2年度 学校経営ビジョンの具現化構想

## 学校経営ビジョン

全職員が一丸となり、生徒一人一人の可能性を伸ばし、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する  
～「4つの学ぶ力」を基盤としながら～

### 『チーム飢肥中』～組織の活性化～

- ◆ 風通しのよい職場づくり（相互理解・相互尊重）
- ◆ 個に応じた指導・支援（二極化対応、個人内評価の伸びによる進路実現）
- ◆ 報告・連絡・相談による効率的・効果的な役割遂行（働き方改革）

「全力投球！悔いなき一日！全員参加！悔いなき活動！」を実践する生徒へ

	目 標	→ 具体的方策(10月・2月達成度調査)
知育 学力向上の充実	① <b>主題研の研究仮説</b> を日々の授業で検証する。その中で、二極化対応として、個に応じた指導・支援の充実を図り研究目標を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <b>見通しのもてる授業</b> ・「目標」と「まとめ」の整合性、板書の工夫</li> <li>◇ <b>わかる授業</b> ・個に応じた適切な指導・支援</li> <li>・正確に読み取る力の指導</li> <li>◇ <b>学習環境づくり</b> ・特別支援教育の視点を取り入れた指導</li> </ul>
	② <b>個人内評価</b> を重視した進路実現を目指す。	◇ 各種学力調査をもとに、経年変化により個人内評価の変容を把握する。3年生は <b>希望高校への全員合格</b> を目指す。
徳育 豊かな心の育成 生徒指導の充実	① 生徒指導の共通理解や共通実践を図りながら、個に応じた指導・支援を行う。 ( <b>報告・連絡・相談</b> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 次の手順で生徒指導における共通理解や共通実践の場を設定する。 ・<b>火曜日の運営委員会</b>での情報共有・手立て</li> <li>・<b>次週月曜日の職朝</b>での共通理解・共通実践</li> <li>◇ 積極的な生徒指導を行う。 ・豊かな人間関係づくりを醸成するための<b>NCP実施</b>(12月)</li> <li>・わかる授業の推進(最善の生徒指導の場)</li> </ul>
	② <b>道徳の授業の完全実施</b> を目指す。	◇ 学級担任と副担任の連携を通して、 <b>副担任</b> の積極的な授業の関わりを行う(TT、相互交替の授業等)。道徳の授業を通して生徒一人一人を全員で見守る。
	③ <b>あいさつ日本一</b> を目指す。	◇ <b>さきがけあいさつ</b> を実践する。 ・校外外で気持ちのいいあいさつの活性化
	④ <b>3年間を見通したキャリア教育</b> を目指す。	◇ 意図的・計画的なキャリア教育の実践により「生き方」( <b>自立・共生・感謝</b> )指導を行う。 ・地域との関わり→社会との関わり→キャリアデザイン設計
体育 健康教育の充実 安全教育の充実	① <b>けがの未然防止</b> を図る。	◇ <b>毎月1回、安全点検</b> を行い、点検状況を全職員で共有し生徒への指導に役立てる。日常観察で迅速に器物損壊等に気づく。(施設面の安全を未然防止へ)
	② <b>けがや病気の見落としがない</b> 保健室経営に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 生徒一人一人の状況において、管理職や職員、保護者との連携を密にする。</li> <li>・<b>健康チェックカード</b>による日常観察</li> <li>・<b>フツ化物洗口</b>を基にした虫歯治療率の向上</li> </ul>
	③ <b>情報モラル教育</b> の推進により健康増進を図る。	◇ 学校保健委員会(10月参観日)で情報モラル講演会を行い生徒指導とともに保護者への啓発を図る。 ・生徒会活動との連携
特別支援教育 支援体制構築	① <b>保護者との相談活動</b> を充実する。	◇ <b>連絡ノート等の活用</b> を通して連携を図る。保護者の気持ち受け止め、対応策をともに考える。本人・保護者の意向を尊重しながら進路実現を果たす。
	② 様々な支援を要する生徒への <b>学習環境づくり</b> や <b>学習支援</b> を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 生徒の実態把握と教育的ニーズを踏まえた指導・支援を行う。</li> <li>・<b>学習環境づくり</b></li> <li>・<b>学習支援</b></li> </ul>